

令和7年度第2回亀岡市まちづくり協働推進委員会 会議要旨

日時：令和7年8月21日 10:00～12:00

場所：亀岡市役所別館 3階会議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 第3次まちづくり協働推進実施計画の成果と課題について

(2) 事業と委員会の関わり方の方針について

(3) 令和8年度事業計画について

第2回亀岡市まちづくり協働推進委員会では、4人一組のグループに分かれ、3つの議題についてグループディスカッションを実施しました。まず、参加者それぞれが付箋に意見を書き出し、グループ内で発表しました。その後、それぞれの議題について話し合い、各グループで最も重要と考える課題を3つ選びました。

以下各グループで出た意見を原文のとおり記載します。

グループ 1

行動計画 1 これからの市民活動と協働を担う人づくり

成果

亀岡市公式 LINE は市民活動団体でも流すことができ効果があった。

LINE での広報十分動員の支援になっていると思う。

ワークショップの参加者が多かったのは良かったがアフターフォローが必要。

去年のワークショップ、内容としてはとても学びのあるものだった。

課題

事業等告知に係る広報不足。

単発のボランティア有効活用。

多様な担い手の掘り起こし、シニアも入れる。

人材バンクの必要性。

ワークショップのターゲットがあいまいで結果集客があまりできていない。

その人たちが参加しやすい、参加しようと思える活動、ワークショップ意識づけ。

日常接している年代子育て中の親、働いている人が多い千代川町、大井町、駅北の人が多い。

私自身が休日仕事終了後等のワークショップに参加できていません。すいません。

行動計画 2 市民活動と協働を進めていくためのコーディネート機能強化

成果

メーリングリストの配信数は増えている。市外からの配信依頼もある。

団体間の意見交換会は有意義であった。

市民活動推進フォーラム、参加者も多くて盛大だった。

課題

かめおか市民活動推進センターの相談窓口としてのレベルアップ。

相談で何が相談できるかわかりにくい。

かめおか市民活動推進センターの認知度 UP。一般の人は知らない。

人材・団体・物品・支援金等の情報コーディネート。

広報のやり方。

ホームページは見に行かないといけない。かめおか市民活動推進センターのホームページ。

わかりにくい。LINE 等紙。

ワークショップのターゲットがあいまい。結果集客があまりできていない。

行動計画3 市民協働を支えるための資金等の充実による活動団体の活性化

成果

NAWASHIRO 基金の注目度が上がっている。実際の申請数も増えている。

共感大賞おもしろかったネット・ユーチューブ配信できればより良い！

NAWASHIRO 基金の共感大賞は良かった。

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金が7割交付から8割へ。より支援できるようになった。

課題

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金の認知度が低い。

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金の団体PRにたよる←もっとフォローが必要。

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金の制度が分かりにくい。難しい。

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金のタイトルのフォントちょっとビミョー。

NAWASHIRO 基金の周知。

NAWASHIRO 基金の認知度UP。

NAWASHIRO 基金申請が増え3人の任意団体では人的資源が足らなくなるか心配。

NAWASHIRO 基金の組織。

まず企業のメリット発信。地元企業のCSR活動の紹介とか。

重点課題

人材バンク創設

かめおか市民活動推進センター、ふるさと亀岡まちづくり応援交付金広報

学生ボランティアの募集

気づき

かめおか市民活動推進センターの重要性。これから頑張る。

協働うすい。

かめおか市民活動推進センター2年間。周りのフォローなにができるか。

全体の話が聞けた。これからどうするか。

グループ 2

行動計画 1 これからの市民活動と協働を担う人づくり

成果

立てた内容は計画実施出来た。

大学へのアプローチは続けてほしい。

課題

共感大賞 藤田さん一人勝ち、コミュニティの作り方。

若い男性プレイヤーがいない。

固い。

何のために本質に合わせたブラッシュ UP。

STAR を輩出する。

自発的な学生ボランティアを募集する。高校生にも。

国レベルファンを持っている人外部。

活動状況の拡散。

全体でポジション整理。市、府、社協、NAWASHIRO 基金。

市の各課から市民と取り組みたいことをもっと出して行ってほしい。

市職員・市民ともに協働や市民活動について学ぶ。

ワークショップに参加するハードルが高い。

中高生で興味がある子を引っ張り出す。

もっと自然な会話の場交流の場。

ワークショップしない、するなら外注するもの。

行動計画 2 市民活動と協働を進めていくためのコーディネート機能強化

成果

令和 7 年度の亀岡市支えあいまちづくり協働支援金相談頑張っていたと思う！！Good。

課題

テーマ型→解散 自治会→継続。

全体の世界観での自分たちのポジションを。

プロの窓口設置。

団体間の知・物などを可視化する仕組みを。

客寄せとほんとうにしたいアプローチを整理する。

行動計画3 市民協働を支えるための資金等の充実による活動団体の活性化

成果

よいベクトルで伸びている。

共感集めプログラムアドレス集めの仕掛けはおもしろい。

共感大賞で認知が広がり活用が増えた。

基金として寄附もっと集めるほうが良い。

申請書（報告書）サポート必要？

課題

ビジョンのPR支援による寄附の促進。

個人寄付の受け皿拡大。

NAWASHIRO 基金スタッフに人件費は？心配。

NAWASHIRO 基金でかめおか市民活動推進センターを運営しては？常勤を一人ゲット。

ドネーションパーティー。

入口をもっと増やしていても。

認定 or 公社を。

別紙

継続 or 解散までのロードマップづくり。

ブログ。

ストーリーの可視化。プラットフォームづくり。

自治会お金→分散型。

自治会×分野型の協働の推進。

かめおか市民活動推進センターでもっと自治会の相談を受けるように。

重点課題

STAR を輩出する。

学生ボランティアの募集。自発的に。高校生にも。

全体の世界観での自分たちのポジションを。

グループ 3

行動計画 1 これからの市民活動と協働を担う人づくり

課題

自治会活動の維持が困難になっており「協働」の担い手が消失しつつある。

市職員の協働意識醸成のためには新規採用研修のみならず、一般職員に対して定期的に研修や協働ミーティングを行うべきではないか。

自治会活動が担いえない多様な関心、課題を共有する場をいかに創り支援するのか？自発的行動を待つのは難しい。

ワークショップ後のアイデアのその後？

行動計画 2 市民活動と協働を進めていくためのコーディネート機能強化

課題

まず協働推進の拠点としての「かめおか市民活動推進センター」の存在自体が周知されているとは言い難い。拠点として広報をもっとすべき。

つぎに「かめおか市民活動推進センター」に相談に行っても相談ができない。表面的な対応でなく「南丹市まちづくりデザインセンター」のような対応を求める。

重点課題

かめおか市民活動推進センターをもっと知らせる必要がある

かめおか市民活動推進センターの相談員の力量不足と思ったことがある

1つ1つの資金が少ない（補助金）